

学位授与方針との対応表

人間科学研究科臨床心理学専攻修士課程

- (DP1) 臨床心理の専門職としての実践にあたって必要不可欠な専門的知識及び技能を修得している。
 (DP2) 臨床心理の実践に基づいて、課題を発見するとともに、解決に向けて取り組むことができる。また、それについて論理的に思考・情報発信でき、社会に貢献することができる。
 (DP3) 自らの行動に責任を持ち、課題解決に向け周囲の人と協働し、主体的に取り組むことができる。

(修士論文)

	DP1	DP2	DP3
(1)提出要件 ①修士論文は40,000字程度(図表含まず。)とする。 ②4,000字程度の概要を添付すること。 ③修士論文提出までに、中間報告会において報告していること。	(必須)		
(2)審査基準 ①研究テーマの設定に関し、取り上げた動機、意義付けが明確になっているか。 ②研究の遂行に際し十分に調査し、検証した上での確かな分析・考察がなされているか。 ③論文の記述において、本文、図表、引用、参考文献、用語の利用等が適切で、首尾一貫した論理構成になっているか。 ④研究の結果が当初の意図通りに達成され、当該研究領域において独自性を有するものになっているか。 ⑤発表のための資料が適切に準備されているか。 ⑥発表のためのツール等の利用が適切で、発表態度も妥当か。 ⑦研究成果が適切に、分かりやすく説明されているか。 ⑧質問に対して的確に回答できているか。	●	●	●

(特定の課題についての研究の成果)

	DP1	DP2	DP3
(1)提出要件 ①実践研究レポートは20,000字程度(図表含まず。)とする。 ②2,000字程度の概要を添付すること。 ③実践研究レポート提出までに、中間報告会において報告していること。	(必須)		
(2)審査基準 ①研究テーマの設定に関し、取り上げた動機、意義付けが明確になっているか。 ②実務上の視点から問題提起がなされ、実務的な課題の解決につながっているか。 ③研究テーマの遂行に際し十分に調査し、検証した上での確かな分析・考察がなされてい ④実践研究レポートの記述において、本文、図表、引用、参考文献、用語の利用等が適切で、首尾一貫した論理構成になっているか。 ⑤研究の結果が当初の意図通りに達成され、当該研究領域において独自性を有するものになっているか。 ⑥発表のための資料が適切に準備されているか。 ⑦発表のためのツール等の利用が適切で、発表態度も妥当か。 ⑧研究テーマが適切に、分かりやすく説明されているか。 ⑨質問に対して的確に回答できているか。	●	●	●

人間科学研究科人間共生専攻修士課程

- (DP1) 専門的な職業人として活動するために必要される高度な実践的な知識やスキルを修得し、それらを総合的に活用することができる。
- (DP2) 複雑化した現代社会を柔軟に力強く自ら考え、周囲の人と円滑にコミュニケーションをとり、社会に貢献することができる。
- (DP3) 自らの行動に責任を持ち、課題解決に向け周囲の人と協働し、主体的に取り組むことができる。

(修士論文)

	DP1	DP2	DP3
(1)提出要件 ①修士論文は40,000字程度(図表含まず。)とする。 ②4,000字程度の概要を添付すること。 ③修士論文提出までに、中間報告会において報告していること。	(必須)		
(2)審査基準			
①研究テーマの設定に関し、取り上げた動機、意義付けが明確になっているか。	●		●
②研究の遂行に際し十分に調査し、検証した上での確かな分析・考察がなされているか。	●	●	●
③論文の記述において、本文、図表、引用、参考文献、用語の利用等が適切で、首尾一貫した論理構成になっているか。	●	●	
④研究の結果が当初の意図通りに達成され、当該研究領域において独自性を有するものになっているか。	●		●
⑤発表のための資料が適切に準備されているか。	●	●	
⑥発表のためのツール等の利用が適切で、発表態度も妥当か。	●	●	●
⑦研究成果が適切に、分かりやすく説明されているか。	●	●	
⑧質問に対して的確に応答できているか。	●	●	●

(特定の課題についての研究の成果)

	DP1	DP2	DP3
(1)提出要件 ①実践研究レポートは20,000字程度(図表含まず。)とする。 ②2,000字程度の概要を添付すること。 ③実践研究レポート提出までに、中間報告会において報告していること。	(必須)		
(2)審査基準			
①研究テーマの設定に関し、取り上げた動機、意義付けが明確になっているか。	●		●
②実務上の視点から問題提起がなされ、実務的な課題の解決につながっているか。	●	●	
③研究テーマの遂行に際し十分に調査し、検証した上での確かな分析・考察がなされているか。	●	●	●
④実践研究レポートの記述において、本文、図表、引用、参考文献、用語の利用等が適切で、首尾一貫した論理構成になっているか。	●	●	
⑤研究の結果が当初の意図通りに達成され、当該研究領域において独自性を有するものになっているか。	●		●
⑥発表のための資料が適切に準備されているか。	●	●	
⑦発表のためのツール等の利用が適切で、発表態度も妥当か。	●	●	●
⑧研究テーマが適切に、分かりやすく説明されているか。	●	●	
⑨質問に対して的確に応答できているか。	●	●	●